



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者
執行委員長 針谷 歩

2023/3/4 №78

申9号 『2023 年度賃金引き上げ に関する申し入れ』について

3月2日第1回交渉開催！趣旨説明を行い、回答を受ける！

発行責任者 針谷 歩

緑の風 NEWS

East Japan Railway Workers' Union 2023年3月2日 No.118

2023春闘 第1回交渉報告

賃上げに対する会社スタンス 慎重

会社が示した「基本スタンス(要旨)」

- 基準内賃金、特に定期昇給やベースアップの引き上げは、長期にわたり総額人件費に多大な影響を及ぼすことから、中長期における経営変化の変化に対応するための生産性向上の進捗、業績動向、物価等の経済動向、取り巻く社会状況等を踏まえつつ、職責・職能・資格等級・生計費水準と様々な要素を勘案して判断する必要がある
- 元元では、第3四半期では黒字を確保することが出来ており、今後の社会活動の正常化に向けた兆しが見えてきたが、当初計画していたご利用状況まで回復していないことからしても、いまだに厳しい状況にある
- そのような中で、社員の皆さんにおいては、融合と連携による収益拡大や、コストダウンといった生産性向上が働き出したところ
- 要求については、総額人件費に与える影響等も踏まえて、総合的に勘案し、慎重に判断する

経営状況	物価上昇	モチベーション
<ul style="list-style-type: none"> ● 営業利益は3期ぶりの黒字。しかし、減価償却の増額は継続されるものではない ● 設備投資は想定した計画まで進んでいない ● 1月の鉄道営業収入は前年同月の約9割 ● 業績予想の達成には、より一層の収益増進とコストダウンが必要 ● 福利厚生費は1割増減。20年前の状況を引き継ぎ、厳しい状況にある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 消費者物価指数は、前年同期比で4%上昇。企業物価指数はこれを上回る、10%程度の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支社、現場職員の再編の新たな結核・仕事において、社員1人ひとりが、事業の増強を願って、成果を出すことで、仕事を進じた達成感、充実感、労働条件向上といった働きがいの醸成と、社員・家族の幸福の実現と好循環につながる

交渉団の考え
現場の努力に報いると言う経営姿勢が感じられない！

組合員・社員の生活実態には言及してない！

これではモチベーションが上がらず、離職は止まらない

会社が示したスタンスに全組合員で立ち向かおう！職場で働く者の本音を聞き、組織拡大を实践しよう！！

- ・他会社では満額回答のところもある。業種・収支の違いはあれど他会社の社員に対する姿勢を見習ってほしい！
- ・社員に変革を求める前に経営姿勢を変革するべき！
- ・社員数がだいぶ軽減されているはずだ！



組合員

- ・このままでは離職者がまた増え、少ない要員に業務が増えてしまう！
- ・モチベーションは仕事のやりがいで持っている人は少数。大多数は賃金だ！
- ・退職者が多く人件費が上がらないのは意味不明！



未加入者

“慎重論”による低額相場は納得しない(怒)
要求実現に向けて JR 東労組へ結集し共にたたかおう！！

第2回交渉日程 **3月7日(火)決定！**

会社が示したスタンスに職場の声をぶつけます！